



兵協連だより

HYOGO CONSUMER'S CO-OPERATIVE UNION

2014 9



8月20日(水)、尼崎ピッコロシアター（尼崎市南塚口町）にて、「ピースアクション2014 広島被爆ピアノ平和コンサート」を開催し、約200名が参加しました。被爆ピアノの音色と平和への願いを込めた歌声で、会場の参加者とともに次世代へ語り継ぐ平和への想いを新たにしました。（関連記事P.4）

『共助・共生社会の実現』で すべての勤労者の笑顔のために



近畿労働金庫兵庫地区統括本部 本部長
兵庫県生活協同組合連合会 理事

本多 義弘
(ほんだ・よしひろ)

本年6月に近畿労働金庫第十六回
通常総会で兵庫地区統括本部長に就
任し、兵庫県生活協同組合連合会第
六十四回総会で理事に選任されまし
た。今後とも、ご指導・ご鞭撻をよ
ろしくお願いいたします。

労働金庫は働く仲間が創った福祉
金融機関として「働く仲間のお金は
働く仲間の暮らしを支えあうために
循環させる」ことを目指し、働く仲
間とその家族の生活を守り、より豊
かにする生活者本位に考える金融機
関として、その責務と役割を果たし
ています。

そして私たち労働金庫は生協と
同じ協同組合組織でもあります。
2012国際協同組合年を契機とし
て協同組合の一層の役割発揮が求め
られる中、非営利・協同組織間の連
携が必要となっています。

近年、日本経済を取り巻く環境は、
企業業績を中心に回復基調で推移し
ていますが、私たち勤労者にはその

成果が十分に反映されているとは言
えませんが、消費税増税などの負担増
加が先行し、医療・年金制度の不透
明感もあり、勤労者の生活にまだま
だ安心感はありません。

こうした時代であるからこそ、私
たちは「すべての勤労者の笑顔のた
めに」をキャッチフレーズに、会員
組合、生協組合の皆さまと連携して
「生活バックUP運動」を展開して
まいります。

そしてこの「すべての勤労者の笑
顔のために」をさらに地域社会に貢
献すべくウイングを広げた取り組み
も展開しています。

2011年6月から翌年3月末ま
でに取り組みしました東日本大震災に
よる被災地の復興を願った復興支援
定期「サポートV」の2014年3
月末現在の残高は150億6千万
円となり、今年度は「あしなが
育英会」「ゆめ風基金」両団体に
1115万円を寄付することとなり
ました。今後10年間での寄付総額は
1億6180万円を見込んでいま
す。たくさんの方々からの支援の厚
情を長期に渡り、しっかりとお届け
してまいります。本場に有難うござ
いました。

また現在では「社会貢献預金・す
まいる」の取り組みを通して地域社

会への貢献を果たしています。これ
は四つの寄付コース(①エコ推進
コース②子どもたちの未来応援コー
ス③災害復興支援コース④国際協力
コースの各分野の団体活動を応援す
る)から選んでいただく定期預金
で、2014年3月末現在の残高は
75億9650万円となり、今年度は
4コース8団体に対し総額762万
円を寄付させていただいています。

会員組合を始め、多くの組合員の
皆さんから社会貢献預金への賛同を
得て、支援し続ける枠組みが出来つ
つあります。今後ともさらなる支援の
輪が広がる運動を展開していきます。

来年1月17日には阪神・淡路大震
災の発生から20年を迎えます。あの
時の「助け合いの気持ち」を決して
風化させることなく、「共に助け合
い共に生きる社会」「人々が喜びを
持つて共生できる社会」の実現に向
けて、福祉金融機関としての役割を
果たしていきたいと考えます。

私たち労働金庫はとりまく環境が
厳しい時代だからこそ、協同の理念
を大切に働く人達と連帯して、「す
べての勤労者の笑顔のために」頑張
ることをお約束いたします。
今後とも労働金庫をよろしくお願
いいたします。

CONTENTS

- | | |
|--|--------------------------------------|
| 2. 想点 | 5. 単協通信 生活協同組合コープこうべ/
神戸市民生活協同組合 |
| 3. 第2回理事会 報告/
兵協連「第5回労働安全衛生研修・学習会」報告/
兵協連「第2回生活問題研究会」見学研修 報告 | 6. 協同組合のかけ橋 |
| 4. 「ピースアクション2014
広島被爆ピアノ平和コンサート」報告 | 7. 兵庫県のページ |
| | 8. 2014年度「兵庫県生協大会」のご案内/
県連日誌/編集後記 |

2014年度 兵庫県生協連 第2回理事会報告

【開催日時】 2014年8月4日(月) 午後2時58分～4時40分

【開催会場】 兵庫県民会館 12階「1201」

【出席者】 本田会長理事、寺尾副会長理事、三宅専務理事、高橋、新保、伴、大沼、林田、嶋、本多(以上、理事)、藤田、金丸、木田(以上、監事)

協議事項

- (1) 「2014年度兵庫県生協大会」生協功労者表彰について
- (2) 第13回兵庫県消費生活課と兵協連理事会との懇談会について

報告事項

- (1) 「会員生協の概況報告」各出席理事・監事より報告
- (2) 第1回兵協連監事会開催報告
- (3) 2014年度「兵庫県生協大会」について
- (4) 第31回兵庫 JCC 委員会開催報告
- (5) 第92回国際協同組合デー・兵庫県記念大会開催報告
- (6) 「兵庫におけるポスト国際協同組合年を考える集い」参加者募集について
- (7) 「東日本被災地支援活動」参加者募集について
- (8) 前々回理事会～8月上旬までの兵協連行事・諸活動報告
- (9) 2014年度兵協連主要行事スケジュールについて

兵庫県生協連主催 第5回労働安全衛生研修・学習会を開催

7月25日(金)、兵庫県民会館において、生協の事業・経営という視点から見た職場の労務管理や安全管理、健康管理などについての「労働安全衛生研修・学習会」を開催。5生協から役職員9名が参加しました。

「セクハラ・パワハラ、腰痛から心身を守るために」と題して、社会保険労務士・茶園幸子氏にご講演いただき研修・学習会をすすめました。男女雇用機会均等法などの法の解釈についてやセクハラ、パワハラへの対応、腰痛予防についてなどの健康管理についてもお話いただき、生協職員にとって働きやすい職場環境のありかたについて学習をすすめました。参加者からは、「事業者としての、安全・安心の配慮の義務の大切さがわかりました」「凡例もあり、質疑応答の時間で理解が深まりました」などの感想が寄せられました。



社会保険労務士・茶園氏



「生活問題研究会」見学研修 ～消費者行政の現状を学ぶ～

7月31日(木)、今年度の「消費者問題を広く伝えていく方法を探る」をテーマに、生活問題研究会メンバー、事務局あわせて7名で「兵庫県立健康生活科学研究所生活科学総合センター」を訪問しました。

生活科学総合センターでは、おもに「消費生活相談への対応」「商品テスト」「事業者指導の強化」を中心に、市町の消費者行政を支援しています。

生活科学総合センター 土取 充 センター長、相談事業部 武田 博 主幹より、「県内の県・市町消費生活センターで受け付けた平成25年度の消費生活相談件数は50,352件。前年より1割増加し、苦情件数は過去5年間で最多となっています。『インターネットサービス』や『投資関連』のトラブルが増えており、特に契約当事者が70歳以上のトラブルが増加。さらに地域での見守りが重要である」というお話を伺いました。

次に、紫外線についてのセミナーでは、UVクリームやメガネ、衣服などを通して、紫外線防止にどれくらいの効果があるのかなどの実験を交えて学習しました。

参加者からは、「実際に“見る”“体験する”ということは大切なこと」「ものごとへの判断基準を知っていくことが、消費者として自立することだと思ふ」などの感想が寄せられました。

また兵庫県からは、生協による消費者問題に関する啓発の取り組みを支援したいとの提案をいただいております。今後は啓発チラシの配布などで消費者トラブル防止を広く呼びかけていきます。



無響室で製品の騒音や音質を測定



1400倍のマイクロスコープでトラブルの原因を探る理化学実験室

「忘れてはいけないことを」

「一人でも多くの方に伝えたい」

「ピースアクション2014」広島被爆ピアノ平和コンサートを開催

兵庫県生協連では、毎年、県内の地域・医療・共済・大学などのさまざまな分野の生協と一緒に、平和の大切さ、尊さをみんなで考え、確かめ合う場としてピースアクションの取り組みを行っています。

2009年・西宮市、2010年・明石市、2011年・神戸市東灘区、2012年・神戸中央区、2013年姫路市でそれぞれ開催し、今年で6回目となる「広島被爆ピアノ平和コンサート」を、8月20日(水)、尼崎ピッコロシアター(尼崎市)にて開催。当日は、ご応募いただいた組合員と出演者、スタッフ、合わせて約200名が参加しました。

今回演奏された「カズコの被爆ピアノ」は、広島市で原爆投下時、爆心地より2・6kmの民家で被爆しました。原爆の爆風により、無数のガラスの破片が突き刺さり傷ついたピアノは、平成21年5月に所有者のカズコさんよりピアノ調律師の矢川光則

さんに託され、現在、平和の大切さを伝えるために全国各地でコンサートを開いています。はじめに、ヤガワ楽器調律センター・ピアノ調律師の矢川光則さんから被爆ピアノとの出会いや平和への想いについての

お話をいただき、続いて、ピアノ・森須奏絵さん、ソプラノ・大島久美子さんによる「カズコの被爆ピアノ物語」「被爆ピアノに捧げる曲」私はピアノ「原爆を許すまじ」「死んだ男の残したものは」。また、シヨパンの「ノクターンop.9-2」のピアノソロ演奏がありました。休憩時間には会場のみなさまに被爆ピアノを近くでご覧いただき、写真を撮ったり、ピアノに触れてみたりと、原爆の熱線を越えて平和を語り継ぐ被爆ピアノを身近に感じていただくことができました。

矢川光則さん



平和への想いを語られる 矢川光則さん



休憩時には多くの方に被爆ピアノを間近でご覧いただきました



キッズ&ママ コーラスのみなさん



司会の尼崎医療生協 山口 公典さん

後半は、尼崎地域を中心に活動するゴスペル風コーラス隊「キッズ&ママコーラス」のみなさんによる「オリジナルスマイル」「いのちの歌」「ドレミの歌」「Oh Happy Day」の歌声で、楽しく平和へのメッセージが届けられました。

続いて、森須さん、大島さんによる演奏と歌声で「さとうきび畑」「アメージング・グレイス」「Time to say Goodbye」。広島出身の大島さんは、「笑顔で安心して日々暮らせることが平和です」「忘れない日、忘れてはいけない日、でもあります。今日、被爆ピアノを聴いたことを一人でも多くの方々に伝えていただきたい」と話されました。また最後には、「キッズ&ママコーラス」のみなさんも参加し、「翼をください」「花は咲く」「ふるさと」を会場全員で歌いました。

当日は、司会進行の山口公典さん(尼崎医療生協)をはじめ、ピースアクション委員が分担し運営にあたり、

コンサートが無事に終わることができました。平和を祈り続ける被爆ピアノ。その美しい音色に、会場の参加者からは「忘れてはいけない8月6日を心にとめて、平和への想いを大切に、一歩ずつ前向きに進んでいきたい」「平和とは、一人ひとりが守っていかなければいけないことだと実感しました」「小学1年と年少の娘がいます。平和の尊さや戦争の悲惨さを、そろそろ伝えていきたいと考えていたところに良い機会を与えていただきました。これを機に人として、平和を当たり前に大事にする心を育てていきたいと思えます」という声が寄せられ、来年の戦後70年前に、音楽を通して平和への想いをつなぐコンサートになりました。

ロビーでは原爆のパネル展示も



ロビーでは原爆のパネル展示も



ピアノ・森須 奏絵さん、ソプラノ・大島 久美子さん

生活協同組合コープこうべ

宅配・店舗の全職員を認知症サポーターに！ 「生協内キャラバン・メイト養成研修」

コープこうべでは、厚生労働省が推進する「認知症サポーター100万人キャラバン」に賛同し、職員を対象に「認知症サポーター」を増やすための育成研修を実施しています。

7月24日(木)日本生協連が主催する講座を、店長や協同購入センターのセンター長など約150人が受講。認知症の症状や支援方法、認知症予防についての考え方、接するときの心構え、介護をしている人の気持ちについて学びました。また、「認知症サポーター養成講座」の運営方法やキャラバン・メイト



の役割などについての説明も受けました。「認知症の方は常に不安と闘っている。笑顔で見守り支

え、安心していただくことが大切」という講師の言葉に、参加者は真剣にうなずいていました。修了して「キャラバン・メイト」となった職員は、それぞれの事業



所で「認知症サポーター養成講座」を開いて、認知症についての知識を職場内に広げ、認知症の方をサポートする職員を養成していきます。

これまでに2000人を超える職員が「認知症サポーター」になっています。今後は店舗や宅配業務に携わる全職員に育成を進め、認知症への理解者や支援者の輪を広げ、安心して暮らせる地域づくりをめざしていきます。

(通信員 榊原 晶子)

神戸市民生活協同組合

「第13回六甲アイランド市民自転車教室」 で事業を紹介

7月26日(土)、六甲アイランドイベント広場にて、六甲アイランドまちのにぎわい創出実行委員会主催の「第13回六甲アイランド市民自転車教室」が開催され、神戸市民生協も初めて参加し、事業PRを行いました。

当日はウイラーズスクールの講師による交通ルールやマナーについて、紙芝居を使った楽しい勉強会その他、自転車に乗れない子どもを対象とした「補助輪はずしにチャレンジジ



熱心に聞きいる参加者の方々

コース」や、より上達をめざす子ども向けの「キッズステップアップコース」の実習が行われました。

快晴でとても暑い一日でしたが、会場は参加者の子どもたちや家族の方々にぎわいました。神戸市民生協も交通災害共済を紹介したパンフレットやオリジナルうちわを配布した他、事故への対応や保障を解説した「自転車事故と保険の話」を参加者の保護者を対象に開講しました。

参加者の方々からは「自転車事故への備えとしての保障は、普段は意識しないまでも、皆さん必要性を感じていると思うので、ぜひ広めていってください」などのお声をいただきました。神戸市民生協の交通災害共済は、日本国内での交通事故によるケガの入・通院を保障する共済です。特に近年増加する自転車事故への保障は大きな関心を集めており、子どもたちの安全に役立つためにも、いつそこのPRに努めていきたいと思っています。

(通信員 鹿田 裕子)

協同組合のかけ橋

JF

JF兵庫漁連

シートクラブのおさかな教室 ～甲子園二葉幼稚園にて開催～

兵庫県漁業協同組合連合会（山田 隆義会長）で運営するシートクラブは、7月23日(水)に西宮市の甲子園二葉幼稚園で「お魚料理教室」を開催しました。

西宮市で初めて私立として創立されたこの幼稚園は、その後“協同組合の父”と呼ばれる賀川豊彦氏が初代理事長を務めた財団法人イエス団（現：学校法人イエス団）が運営しており、“協同組合”での関連がある同園で開催となりました。

この日の「お魚教室」は、子供たちに人気があり、旬を迎えたタコを使い、園児・保護者、関係者ら約130名が集まり行われました。講師はシートクラブの講師2名が務め、園児らに分かりやすくタコの生態などを伝えました。また、タコが立って歩く姿を初めて見た園児らは大喜びで、じっと観察する姿も見受けられました。最後に、教員らによる「茹でダコづくり」があり、全員で試食して、園児も教員も楽しんだ教室となりました。

今後もイエス団の運営する各園で同様の教室を開催する予定です。



教員の皆さんはスミ抜きに挑戦しました



茹であがったタコに喜ぶ園児ら

JA

JA あわじ島

営農現場で迅速指導 タブレット端末導入

JA あわじ島は営農指導の現場にタブレット型端末機24台を導入しました。営農指導員が圃場へ出向く際に携帯し、現場での迅速な営農指導を目指します。タブレットを導入することで、管内の生産状況を営農指導員同士がリアルタイムに把握し、迅速な対応やアドバイスができます。この他にも、病虫害の注意情報や新技術の情報、農薬の使用基準など、的確な指導が可能です。支店や本所の営農指導担当者に1人1台ずつをそろえました。

組合員からも「病害の様子や営農情報について、写真も表示されるので見やすく、内容もわかりやすい」と好評です。

同JAの濱口晴一営農部長は「今後は、営農指導員が積極的に現場に出向き、JAの栽培指針を基に現地指導の強化を図っていきたい」と話しています。



タブレットを片手に病害について説明する営農指導員



最近の消費生活相談事例

SF（催眠）商法にご注意

事例

高齢の母が自宅前で、「日用雑貨などの売り出しがあるので見に来て」と勧誘され、車で販売会場に案内された。日用雑貨品を無料でもらった後、健康関連商品を勧められプレスレットを契約してしまったが、解約したいと言う。クーリング・オフは可能か。

【アドバイス】

事例はSF（催眠）商法といわれるもので、商品の無料配布などを口実に、高齢者等を狭い会場に誘い、ただ同然で日用品を配るなどして得した気分させて、最後に高額な健康器具、健康食品、布団などを売りつける商法です。

消費者が現金を持っていない場合、銀行まで連れて行き現金を引き出させたり、振込手数料を事前に現金で手渡し、心理的に断りにくくさせる手口も見られます。

SF商法の場合は、特定商取引法により「法律で定められた事項が書かれた書面を受け取った日」から8日以内であればクーリング・オフが適用されます。

今回の事例では、申し出が書面交付日から8日以内であったためクーリング・オフができました。

仮にクーリング・オフ期間を過ぎていても、虚偽の説明により消費者が誤認して契約してしまった場合や、消費者が「帰りたい」と言ったのに帰してもらえないなどの不適切な勧誘があった場合には、契約の取り消しができることもあります。

SF商法のように空き店舗を利用した期間限定の店舗や臨時の販売会などでは、後日、何かトラブルが起きても、事業者と連絡が取れなくなることもあり、解決が困難になります。

早めに、最寄りの消費生活センターへ相談しましょう。

（兵庫県生活科学総合センター）

MOVE

2014年度

兵庫県生協大会

協同が息づく兵庫のまちづくり／協同組合がよりよい社会を築きます

と き：2014年10月9日(木) 13時～16時30分
と ころ：兵庫県民会館・9階けんみんホール
神戸市中央区下山手通4-16-3 TEL (078) 321-2131
この事業はひょうご安全の日推進県民会議からの助成を受けて実施しています。

第1部

13:00～13:50

記念式典

- ◆主催者あいさつ 兵協連会長理事
- ◆来賓あいさつ 兵庫県知事
神戸市長
兵庫県議会議長
- ◆来賓紹介
- ◆生協功労者表彰 県知事感謝
兵協連会長表彰

健康チェック

骨密度・体脂肪・血圧測定など

902号室(12時30分～16時30分)



健康チェックの風景

- 東日本被災地支援バザーのコーナー
- 自然災害に備える共済、保険制度のおすすめコーナー

◆定員 360人 ◆入場料 無料(入場整理券が必要です)

●お申し込み・お問い合わせ●

兵庫県生活協同組合連合会(担当:三輪) TEL:078-391-8634 FAX:078-392-2059 主催:兵庫県生活協同組合連合会

第2部

14:00～15:40

講演

「語り継ぎたい。命の尊さ」

NHK大阪放送局アナウンサー

住田 功一氏



1995年1月17日、たまたま神戸市灘区の実家に帰省していて阪神淡路大震災に遭う。実家は大きな被害を受けず、緊急初動の取材にあたる。NHKの取材者として、一市民として目撃したことをもとに、いざというときにどう行動すれば一人でも多くの命が救えるのかを考えます。著書に『語り継ぎたい。命の尊さ 阪神淡路大震災ノート』(まなびリンク社)がある。

編集後記

今年も会員生協のご支援により、6回目となる「広島被爆ピアノ平和コンサート」を開催いたしました。平和についての話を真剣な表情で聞いている子どもたち、「キッズ&ママコーラス」の明るく元気な歌に合わせて自然と手拍子が起こったり、最後には会場のみなさんで大合唱!に。歌うこと、体を動かすことで、元気があふれる気がいたしました!

ご参加の方々からいただいた感想メモのひとつですが、私たちのエネルギーになります。コンサートにご参加のみなさま、ピースアクション委員のみなさま、ありがとうございました!

(中尾)

県連日誌

9月11日(木) 兵協連第3回生協活動委員会 (県民会館 ばら)

9月12日(金) 13日(土)

兵協連「東日本被災地支援活動」

9月18日(木) 兵協連 第1回医療生協部会 (宮城県 山元町)

組織担当者会議

9月26日(金) 兵庫JCC (県民会館 1101)

「兵庫におけるポスト国際協同組

合年を考える集い」

(神戸市 賀川記念館・人と防災未来センター)